

であい
ふれあい
まなびあい

水谷公民館からのお知らせ

TEL 049-251-1129



サロン交流 - 介護者サロン - つぶやきカフェ

(介護にあたっての方対象：専門スタッフによるアドバイスもあります)

とき/1月9日(水)午後1時30分~4時
会場/会議室 *参加費：100円(茶菓子代等) *申込み：不要



サロン交流 - おひとりさまサロン - 百(もも)の会

(ひとり暮らしの高齢者対象)

とき/1月28日(月)午後1時30分~4時
会場/公民館にお問い合わせください。
*茶菓子代等実費負担の場合あり *申込み：不要

— 公民館の利用について —

【平成31年4月分の予約の流れ】

①抽選申込み期間	1月15日(火)~31日(木)
②コンピューターによる自動抽選	2月1日(金)
③抽選結果の確認	2月1日(金)~4日(月)
④窓口受付開始日	2月5日(火)午前9時~
⑤インターネット仮予約受付開始日	2月6日(水)

※ 休館日 12月29日~1月3日(年末年始)、1月21日(第3月曜日)

掲示板

地域のイベント情報や会員募集などを掲載します。
詳しくは、公民館までお問い合わせください。

市民人材バンクモデル事業

冬の「星空さんぽ」サロン

星の歌で、心さざめき♪

冬の星座にまつわるお話を聞きながら、みんなで冬野菜のお菓子を食べる…
冬の空も、冬の大地も、まるごと満喫できる楽しいサロンです。みんなで楽しい冬のひと時を過ごしませんか??

とき/1月28日(月)午後1時30分~3時30分

会場/水谷公民館

講師/大住辰六氏

協力/柴田妙子氏(野菜ソムリエプロ)

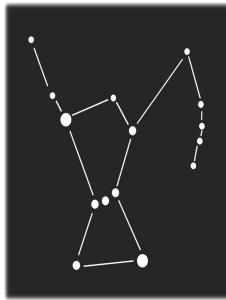
リコーダーアンサンブル・アンダンティーノ

定員/20名程度

参加費/200円(お茶・菓子代として)

申込み/1月7日(月)から。生涯学習課までお電話ください。

連絡先/生涯学習課(代表TEL049-251-2711 内線632・633)



水谷公民館にも設置!

コパトン健康マイレージ

水谷公民館でも歩数データを送信できるようになりました。歩いてポイントを貯めると、抽選でプレゼントが当たります!

利用には登録が必要です。申込書は水谷公民館にあります。



水谷公民館だより「お知らせ版」を発行します

事業周知のため、臨時発行します。2月発行、A4版1枚予定です。

編集委員会が、「あんど餅の雑煮がある」との発言をきっかけとしてスタートした企画です。編集委員だけでなく「読者の方にも作っていたかどうか」との声もあがり、どんな内容が決まりました。おかげ様で6名の方の協力により、創作雑煮と九州から関東まで各地のお雑煮を紹介することができました。ただ残念なのは、東北の雑煮を紹介できなかったことです。また、尾張・美濃の雑煮では欠かせない餅菜の栽培をして頂いた編集委員のお二方、一部の雑煮は、より詳しいレシピをいただきましたので、公民館に掲示してあります。ぜひ活用してください。私も新年の雑煮は、新しい味にチャレンジ!!

編集後記

子育て交流 - 子育てサロン - 親子フレンドパーク

自由に話したり遊んだりして交流します。スタッフによる手遊びや子育てに関するアドバイスもあります。

とき/1月9日(水)午前10時30分~正午
*参加費：無料 *申込み：不要



子育て学 母さんのステップアップ講座(保育つき) 耳つぼ健康とパネルシアター

元保育士の先輩ママから、育児のリフレッシュのための耳つぼ健康法を学びます。また、講座の最後には親子いっしょにパネルシアターを楽しみます。

とき/1月16日(水)午前10時~正午

会場/講座室

講師/内山奈津子さん(富士見市市民人材バンク登録者)

定員/12人(申込順)

持ち物/お子さん：着替え・おむつ・白湯(ミルク不可)

※持ち物は記名願います。

*参加費：無料 *申込み：電話・窓口で受け付けます。



子ども体験あそび 水谷子ども広場(対象:水谷小学校児童 参加費:無料 申込み:不要)

【2323】ゲーム・スポーツ・宿題など自由に過ごします。

とき/1月28日(月)午後3時~4時30分 会場/多目的ホール

【土曜道場】絵手紙・茶道・スポーツなど自由に体験できます。

とき/1月26日(土)午前9時30分~11時30分 会場/多目的ホール

学ぶ パソコン相談室(初心者向け:ワード・エクセルなど)

【水谷公民館】とき/1月9・16・23・30日(水)

【針ヶ谷コミセン】とき/1月10・24日(木)

とき/午後1時30分~3時30分 *参加費：無料 *申込み：不要



展示 水谷の遺跡から出た土器

水谷公民館ロビーで展示中です。ぜひご覧ください。

雑煮の思い出

私がまだ子どもの頃の昭和30年代の初めは、雑煮といえは醤油味で、具材は里芋(子が増える、繁栄するというこ)とで縁起がよい」と大根のみの家がほとんどでした。また、大家族の家では、餅は焼かずに何枚にも重ねて鍋に入れて煮込み、下のほうになるとドロドロにとけていた



こんにちは
コーナー

のもので。もち米がまだ貴重だったこともあり、家によってはもち米に雑穀の葉を混ぜた「粟餅」(今は低カロリーのため人気がある)を食べることもありました。赤い餅「もろこし餅」もあつたそうです(青木正雄氏談)。餅は、日にちが経つにつれてカビが生えるため、樽の中に水浸けにして保存してました。「水餅」と呼ばれ、保存には2・3週間おきに水を取り換える作業が必要でした。3月から4月頃まで食べるのができました。

はとても水が冷たく、手が凍えて辛かった記憶があります。余談ですが、私より年配の方たちは焼いた餅を昼食用の弁当として、学校に持っていったこともあつたそうです。餅を学校で温めると餅臭くなつたり、挙句の果ては餅がくっついてしまい大変だったそうです(青木正雄氏・関博見氏談)。

水谷第3町会

大久保

勇次

